

新たな可能性を切り拓く

長い歴史の中で培った技術を活かし、つぎの社会課題に応えるために、川崎重工グループは創造的な挑戦を続けます。

HySE-X1、ダカールラリー 2024 を駆け抜く

川崎重工、カワサキモータース株式会社、スズキ株式会社、トヨタ自動車株式会社、本田技研工業株式会社、ヤマハ発動機株式会社の6社で2023年5月に設立した「HySE (水素小型モビリティ・エンジン研究組合)」。各社の共同研究のもと、クロスカンツリー界で定評のあるオーバー・ドライブレーシング社が制作したシャーシを活用して開発された水素エンジン搭載バギーが「HySE-X1」です。Ninja H2シリーズに使用されているスーパーチャージドエンジンを水素燃料用に改造したエンジン、3本の水素タンク、および水素燃料供給システムを搭載し、過酷な状況下でのデータ収集を目的と

して開発されました。

2024年1月、HySE-X1は「ダカールラリー」の次世代パワートレイン開発を促す新カテゴリー“Mission 1000”に出場。見事最終ステージのフィニッシュゲートまで辿り着き、水素小型モビリティの早期課題抽出、水素エンジンの基盤技術構築という参加目的を十分に果たしました。川崎重工グループは、多様なプレイヤーと力を合わせ、思いを共有しながら水素エネルギーの実用化を目指していきます。



※詳細はWebサイトをご覧ください。